

令和4年度 自己評価結果

1 学校の教育目標 <校訓>

<校訓> ～技を競って 心を磨く～

- 理容・美容の知識・技術の基礎的・基本的事項を身に付け、職業実践的な技術を磨くとともに心を磨く教育活動を創造する。
- 地域に開かれた学校づくりを推進し、豊かに人と関わり、社会に貢献できる人材を育成する。

2 自己評価の項目

(1) 学校の教育目標

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。	④ 3 2 1	
b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。	④ 3 2 1	
c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。	4 ③ 2 1	
d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。	④ 3 2 1	

<現状>

令和4年度は、8月頃まで新型コロナウイルスの第7波の感染拡大の余波を受け、地域貢献ボランティア活動については、例年通り実施できにくい面も見られた。しかし、今年度は特に厳しい行動制限がなかったことで生徒の体調面に配慮しながら、香川県への校外研修を実施したり、「第14回全国理容美容学生技術大会 四国地区大会 理美容甲子園2022」に参加したりすることができた。大会ではヘアデザイン画やネイルアート部門で総計7名が入賞するなど優秀な成績を収めた。優秀賞を受賞した2名の生徒は全国大会「理美容甲子園 2022」のネイルアート部門に参加し活躍した。本校の校訓「技を競って 心を磨く」の如く、1年生、2年生ともに美容技術の向上と修得に努めることができている。

<今後の課題>

今後、新型コロナウイルスの感染状況、社会状況を見極めながら、教育課程の確実な実施に向けてその都度、適切に判断し実施していきたい。今後も地域に開かれた学校づくりを推進し、社会に貢献できる人材を育てていきたい。

(2) 学校運営について

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	④ 3 2 1	

b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。	4	③	2	1
c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。	④	3	2	1
d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。	④	3	2	1
e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。	4	③	2	1
f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。	4	③	2	1

<現状>

今年度、ヘアデザイン画部門 優秀賞3名、敢闘賞1名、ネイルアート部門 優秀賞2名が全国大会に出場したことについて新居浜市や地域の方々に広く周知していただく良い機会となった。また、本年度はInstagramやホームページに記事をアップするためのタブレットを購入し、積極的な情報発信に努めている。教務や財務などの運営についても、常に教職員間での「報告・連絡・相談」を密に図っており、税理士や社会保険労務士など専門家の意見も聴取しながら、適切な組織体制の整備に努めている。

<今後の課題>

今後も事業計画の実施については、その都度、社会情勢を鑑みながら円滑に進めていきたい。また、情報の公開については、随時Instagramやホームページに情報を公開することで、積極的な情報発信を行っていききたい。

(3) 教育活動

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
e 実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
f 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	④	3	2	1

h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1

<現状>

教育課程の編成・実施においては、必須課目及び選択課目の授業時数の確保に努め、認証福祉理美容講習やABEまつ毛エクステンション技術者認定講習、校内メイクアップ検定講習など、トータルビューティとしての本校の特性を生かした教育課程の適切な編成・実施に努めている。今年度は1年生、2年生全員が30時間の認証福祉理美容師講習を受講し、専門家からの実技講習も受けた。認証福祉理美容師認定試験には全員が合格した。また、「まつ毛エクステンション」の美容技術修得を必須課目として教育課程に位置付けて、ABEまつ毛エクステンション認定校の特色を生かし全て校内で実施している。1年生は30時間の「まつ毛エクステンション」技術者認定講習を受講し、自校で認定試験を受検、全員が「ABE Eyelash extensions Assistant director」認定証を取得した。また、企業と連携しネイルアートの専門家の指導によるOPIベーシックネイル課程修了、日本ネイリスト3級技能検定指導など、専門的・職業実践的な資格や技能を身に付けることができるような体制整備に努めている。今年度は新居浜市年金事務所と連携し、1年生、2年生ともに「チームズ」を活用したwebでの年金セミナーを開催することができた。

<今後の課題>

今年度、教員資格認定講習会に1名教員が参加し資格を取得できたことで、新たに「美容実習」「美容技術理論」を指導することのできる教員が1名増えた。また、理容科の教員不足を解消するため、自校の教員が2名「美容修得者コース」で学んでいる。令和5年度には2人とも理容師免許を取得できるようサポートしていきたい。日本理容美容教育センター主催の「メイクアップ」指導者養成研修会については、今年度の開催は見送られたため受講はかなわなかったが、今回、ABEまつ毛エクステンションの講師資格研修会に教員が1名参加し、次年度より自校の教員2名で技能検定開催ができる校内体制整備が確立した。

(4) 学修成果

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
b 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
c 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

<現状>

就職率の向上に関しては、昼間課程における卒業生の地元企業への就職率は100%、中途退学者は0人であった。昨年度と同様に実務実習店舗と連携して、実習の成績評価や状況を的確に把握し、就職活動への意欲付けを図ったり、企業等の求人案内をいつでも誰でもが閲覧できるように職員室に備え付けたり、就職先が決定するまで個別に相談に応じるなど、一人一人へのサポートに努めてきた。国家試験に関しては、本校教員が国家試験実技試験の審査員や主任等を務めており、実技でのチェック項目に関して細かく指導し、模擬試験を事前に何回も実施するなど取り組んでいる。指導教員が実技面での指導事項や重点事項を、自ら研修会に参加して理解し、生徒に具体的に指導できる体制が整っている。令和4年度8月・9月の通信課程での理容師・美容師国家試験については、理容科100%、美容科88%、2月・3月の昼間課程での国家試験においては美容科100%の合格率を挙げることができている。これは全国平均と比べると随分高い合格率である。

<今後の課題>

既卒者で国家試験に不合格であった者についても、個別に次回の国家試験に向けて、昼間課程の授業に参加できるようなアフターサポートをきめ細やかに行っており、今後も支援体制を継続していきたい。

(5) 学生支援

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
b 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	
d 学生の学内生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1	
e 保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1	
f 卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1	

<現状と今後の課題>

高等教育の修学支援新制度を活用している生徒は現在34%となっており、生徒が継続して認定を受けることが出来るように出席率や成績の面において、一人一人への助言や指導を行うなど、きめ細やかな対応に当たっている。生徒の放課後の様子や生活習慣については家庭との連携が不可欠であり、今後も家庭との連絡を密に、より良い方向へ改善していけるよう努めていきたい。また、経済的に配慮が必要な生徒においては、授業料の納入について個別に相談に応じきめ細やかに対応している。また、生徒が心の問題を抱えて登校しづらい状況である場合には、生徒と個別に面談したり、SNSで連絡を取り合ったりして、悩みを聴ける

場を設けている。生徒からの個別の悩み相談に関しては、その都度、学級担任や校長、教職員の誰でもが関わりながら、気軽に相談しやすい体制が整備されている。本校の特色でもある少人数指導で家庭的な温かい雰囲気の醸成に向けて今後も尽力したい。

(6) 教育環境

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
b 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

<現状と今後の課題>

施設、設備面では、旧校舎については早57年が経過しているが、大規模改修となると予算的な面もあり、長期的な視野に立って資源を蓄え活用していかなばならない。今年度は新型コロナウイルスのオミクロン株の特性であるエアロゾル感染対策として、教室の窓を適時開けて換気することに加え、全ての教室のエアコンフィルターの洗浄、大型のサーキュレーターを購入しての一層の換気など感染予防に尽力した。また、全国大会への出場を受けて横断幕を新しく設置するなど情報発信に努めた。防災面においては、「シェイクアウト愛媛」に参加したり、避難訓練を実施したりするなど、日頃から防災意識を高めている。全校生徒、教職員にいざという時のための防災ヘルメット、非常持ち出し袋を配布し、教室内に常時備え付けている。

今後も予算を勘案しながら長期的な計画に立って施設・設備を新しいものへ改善していくことが必要となる。防災体制の整備については、今後、発生するであろう南海トラフ巨大地震発生に備えて、新居浜市の防災センターを見学して生徒の防災意識を高めていきたい。新居浜市のハザードマップによると、自校周辺地域は南海トラフ巨大地震が発生した際には、浸水被害が出ることが予想されるので、重要な書類については今後も浸水被害の恐れのない2階の書類へ整備していきたい。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
c 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

<現状と今後の課題>

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染対策として、個別での学校見学を実施した。一人一人に時間をかけてじっくりと学校の様子や募集要項の内容についても説明することができた。毎年、今治市、四国中央市、西条市、新居浜市の各高校を回って、学校の教育活動の取組を説明している。また、今年度も新居浜市の「あすなろ教室」にも行き、自校に高等課程が設置されていることを説明した。

また、修得者コースが設置されていること、高等教育の無償化等の認可校になっていること、ABEまつ毛エクステンション認定校であることなどを、インスタグラムやホームページ、募集要項等に掲載して、広く周知していただけるよう取り組んでいる。進学ガイダンスでは、今年度は愛媛県立新居浜商業高等学校、愛媛県立西条農業高等学校で開催した。体験学習を行ったり、プロジェクターを活用したり自校の学校の特色などを詳しく説明できたので、次年度の生徒募集につながっている。学納金の教材費については、円安、物価高騰の余波を受け、授業に必要な物品が大幅に値上がりしており、令和5年度から教材費については致し方なく値上げを行うこととなった。

2060年には県の人口が60%近くまで減少するという推定がなされている。生徒数が激減していく中、毎年安定して学生を確保することは今後の重要な課題である。理美容業は人々の生活に必要不可欠なものであり、地域住民の暮らしを支えている。理美容師を育成し、将来の地域産業や人々の暮らしを支える人材を育成する本校の役割は大きい。今後も「地域に根ざした学校」を目指し、地域貢献ボランティア活動にも尽力しながら、地域での基盤づくりを行うことで、生徒募集につなげていきたい。

(8) 財務

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1			
a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
c 財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
d 財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

<現状と今後の課題>

今年度、昼間課程は23人、通信課程22期秋生 理容科3名、美容科12名、計15名が入学した。そのため、昨年度に引き続き財務基盤は安定していると言える。毎年、財務状況は生徒数に大きく影響されるため、今後も継続して生徒数を確保するなど、長期的な財務基盤の安定に努めなければならない。令和4年度の予算・収支計画については、税理士や社会労務士などの専門家にも意見を求めたり、前年度の財務状況を勘案したりして、適切な予算・収支計画を立案しているため、黒字決算であった。会計監査も毎年、理事会の監事により適切に行われている。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1	
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1	
d 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	

<現状と今後の課題>

個人情報に関しては昨年度より通信機器のセキュリティー対策を強化し、外部からのウイルスの侵入に備えている。校内で活用しているWi-FiのSSIDについても、Wi-Fiからのウイルスの侵入を防ぐため、生徒用と教員用のSSIDを区別している。学校評価に関しては、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施しており、学校関係者評価委員会を開催して外部人材の意見も参考に、より望ましい適切な学校運営に努めている。また、自己評価結果や学校関係者評価委員会の結果については、毎年ホームページ上で公開するなど、情報公開や法令等の遵守に努めている。今後も学校評価を確実に実施することを通して、より一層の学校運営の改善を図っていきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	よくできている…4 あまりできていない…2	できている…3 できていない…1
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	④ 3 2 1	
b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
c 地域に対するオープンキャンパス等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1	

<現状と今後の課題>

今年度も小学生対象の地域貢献ボランティア活動を行った。惣開公民館での夏季講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら延期となった。（昨年度に引き続き3回目であったが、大変人気のある講座で、参加を希望する小学生が多かったため抽選で選んだということであった。）今年度は新たに宮西校区愛護班活動のHalloweenイベントにも生徒や教職員がハンドペイントやヘアセットでボランティア活動を実施した。新型コロナウイルス感染防止にも十分配慮し、生徒や子供たちにとっては楽しく充実した活動が展開できた。このような社会貢献ボランティア活動は、学生にとっても様々な人々と触れ合う場であり、人間力を培う良い機会でもある。今後も地域貢献ボランティアにも継続して尽力し、より一層、地域に開かれた学校づくりに尽力していきたい。

今後も社会に自ら貢献できる主体的な人間を育成するため、生徒一人一人のボランティア精神を高めながら、様々な場面で地域貢献活動の幅を広げていくことが課題である。